

佳作

このままだと「世界」は

赤坂小学校 水野 夢華

「この世界にはどれくらい動物がいるのだろう」

この疑問から世界に何種類の動物がいるのかを調べてみました。調べた結果は、今までに見つかっている動物は二百四十万種です。しかし、まだみつかっていない動物を合わせると、二百四十万種と三千三百万種と予想されています。しかし今、毎年四万種の生物が絶滅しています。私は、まだ見つかっていない動物も知らないうちに絶滅してしまい、姿さえ見られないこともあるのかもしれないと思いました。どうして、そんなことになっているのかを調べました。動物の絶滅理由のほとんどが人です。外来種の問題や地球温暖化など生物にひ害がある問題がいっぱいあります。

その中の一つとして私は、密猟・狩猟を調べました。

私が調べた中の一つはニホンオオカミです。ニホンオオカミはもう絶滅して日本にいません。ニホンオオカミはきょう犬病などのかんせんで殺されました。そのとき、

「ニホンオオカミを殺したら数万円」

など賞金がかげられることもありました。そして、たくさん殺して、ニホンオオカミは絶滅しました。

今、ニホンオオカミが今まで食べていたシカが大増加し

て困っています。どんなに人にとって不つごうでも絶対に絶滅させてはいけなと思います。動物と人は助け合って生きているのに人間のつごうで殺したら動物がかわいそうだし、人も困ります。

それに狩猟だけではありません。身近なことで、ペットの問題もそうです。「かわいい」というだけでペットをかい、「お世話がたいへん」とペットを捨ててしまう人もいます。そんな動物は「ノラネコ」「ノライヌ」などになっています。

人は、

「ノラネコ・ノライヌはめいわくだ。」

と言いますが、その原因は人なのです。すべてが人のせいというわけではありません。でも、少しでも人が動物にめいわくをかけないように減らし、そして今度は人が動物のやくにたてるようにがんばっていかねればなりません。いきなり、解決するのはムリなので、少しずつ一人一人が自分でできるはいいで、がんばっていき、動物と助けあい、助けあって生きている動物をうらぎらないように生きていきたいです。